



特集

# お釈迦様ものがたり 10 分派・独立の動き。そのときお釈迦様は？



前回お話しましたように、大勢力となった仏教教団の中で、提婆達多は、お釈迦様を亡き者にして、後釜に座ろうと画策しますが、ことごとく失敗して、死んでしまいました。

## 地獄に落ちた提婆達多

死んだ提婆達多は、地獄に落ちました。地獄の業火に肉を焼かれ、身を焦がされ、それでも逃れることは許されず、終わりのない苦痛にさいなまれていました。

そんな提婆達多の地獄でのありさま

を目にしながら、お釈迦様は、「彼の心にもわずかながら真理の教えが残されている。いつの世になるか分からないうが、必ず悟りを開いて解脱を果たすことができるだろう。真理の教えは、悪い心の持ち主にさえも働くのだから」と静かに語られました。

## 提婆達多の戒律

この話には、実は、別の言い伝えもあります。教団の戒律の緩みを見かね

No. 17  
2006 Spring

山 松 舎  
寺 南 臨

た提婆達多が、お釈迦様により厳格な戒律を提案したところ、お釈迦様に反対されて、分派を作ったというのです。その戒律は、次のようなものでした。

- ① 僧はぼろろれをつなぎ合わせた衣だけをつけること
- ② 食事は一日に一度だけにすること
- ③ 肉や魚を食べないこと
- ④ 食べ物に托鉢したものだけにすること
- ⑤ 家ではなく地面に住むこと

## お釈迦様の反論

これに対してお釈迦様は次のように反論したといわれます。

- ① ぼろろれの衣を着るのは称賛すべきことだが、在家の人が供養してくれた衣を着けることは許される
- ② 一日一食でもよいが、再食してもよい

- ③ 自分のために殺したり殺すのを見たり聞いたりしたときは食べるのを許されないが、そうでなければ許される
- ④ 托鉢は賛成だが、在家の人に接待を受けることも許される
- ⑤ 地面に住むこともよいが、家に住むことも許される

しかし、提婆達多が提唱した戒律に賛成する僧も多く、五百人の僧を連れて一派を作ったといえます。今も小乗仏教の中には、その流れを汲んで戒律を厳しく守っている人々もいるそうです。



# お彼岸は「心」について 考える一週間



お彼岸は、般若心経にも出てくる「波羅蜜多（梵語でパーラーミター）」を訳した「到彼岸」を略したもので、迷いや苦しみの多い「此岸」から、悟りの「彼岸」に渡ることをいいます。

お彼岸は、此岸から彼岸にわたるための修行期間のことです。「暑さ寒さも彼岸まで」といわれますが、二年中

で最も過ごしやすい時期を選んで、一年に二回心の修行をするようになったのです。お彼岸は、お釈迦様の教えを実行する一週間にしましょう。ご先祖様に感謝を

ささげ、生きとし生けるものすべてのものへ限りない慈しみの心で過ごします。考

え方や行動が自己中心的にならないよう、自分を見つめ直します。また、親が信

仰の手本を、お子さんやお孫さんに示すよい機会になるのではないのでしょうか。

臨南寺では、三月二十四日（金）午後一時から、彼岸会施

食会を修業いたします。当日は平日であり、ご都合の悪い方は、事前にご回向をお受け

できますので、お問い合わせ

ください。皆様のお参りをお待ちいたしております。



## 三好風人の句碑

臨南寺の門を入って、砂利道を本堂へ。本堂の右手前に小さな森があります。その森の中に、石の句碑があるのをご存知でしょうか？

方丈に 机唯ある

若葉哉 風人

これは三好風人という人の句碑です。方丈というのは住職の部屋のこと、若葉に包まれた住職の部屋にぼつんと机がある、そんな情景を詠んだ句です。

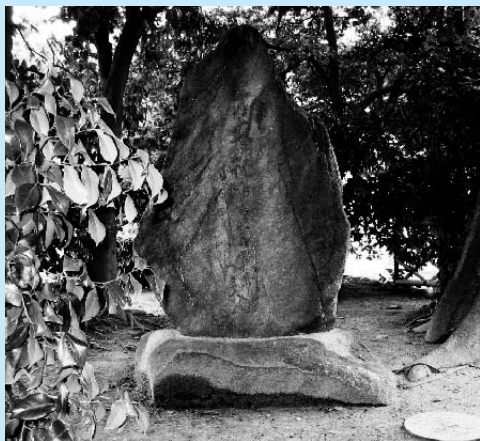
三好風人——本名を三好陣太郎といい、愛媛県松山市生まれ。正岡子規、高浜虚子に師事し、のちに大阪の俳人・青木月斗の門下に入り、大正七年、三十四歳頃、池田市に住まいを移しています。池田市は江戸時代から俳諧の盛んな土地で、風人は

この地に多くの俳人を育てました。河東碧梧桐は月斗の妹と結婚しており、蕪村研究のためたびたび池田に来た碧梧桐とも親交があったようです。

風人は俳画にもすぐれており、句碑の裏面には、師の月斗が「汝が描きし木蓮の絵に互つらん」と、その才能を惜しんでいます。

風人は、昭和三年一月十八日、池田市の唐船ヶ淵に身を投じてしまいました。唐船ヶ淵は、中国から織姫が上陸したという伝説のあるロマンチックな景勝地です。享年四十四歳。

この句碑は、月斗をはじめ、友人たちの協力によって昭和四年秋に建立されたものです。



# 皆様の熱心なお墓参りには 頭が下がります。

春のお彼岸が近づいてまいりました。暑さ寒さも彼岸までといいますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

ここ大阪で生活し始めてから感じておりますのは、皆様のお墓参りの熱心さであります。

育った環境の違いでしょうか、私の田舎や本山のある関東では、お彼岸、お盆といった時期を除いては、あまりお墓参りの姿を見かけることはなかったような気がします。

お墓参りされる姿をお見かけすると、皆様のお気持ち伝わってきて、思わず背筋が伸びるような気がします。

そうした光景を、日々目にしている中で、ちょっと気になることがあります。

大勢の皆さんの中には、お参りが終わっても手桶を元に戻されない方、ゴミの分別をされないで捨てられる方、水道を出し



臨南寺 住職

大澤正道

っぱなしにされたままの方……などを御見かけします。

お寺では、皆様に気持ちよくお参りいただくよう努めておりますが、お一人おひとりマナーを守ってお参りいただきたいと思えます。

お彼岸にはたくさんの方々がお参りされます。家族連れの方も少なからずいらっしゃいます。そのような光景を小さなお子さんが見たらどう思うでしょうか？皆様の協力をお願いいたします。

## お彼岸にお写経で ご冥福を祈りませんか？

般若心経のお写経は、一文字書けば仏様一体を刻むといわれます。故人のご冥福を祈り、先祖を供養し、浄福を授かります。

お写経は、大本山總持寺に納経させていただきます。随時受け付けておりますので、お気軽にお申し出ください。



## マトリ合同法要 五月十四日(日)開催

五月十四日(日)午後一時から、がつしよう園マトリの合同法要が営まれます。本堂での法話の後、マトリに入り、読経のなかで焼香と祈りをささげます。

がつしよう園マトリは、お墓の継承者がいなくても、永代にわたって供養してもらえる永代供養墓。マトリ会員でない方もご参加いただけます。関心のある方はこの機会にご参加ください。

## 臨南寺行事予定(三〜五月)

### □ お彼岸写経会

三月十八日(土)〜二十三日(木)  
午前十時〜午後三時(受付随時)  
亡くなられた方を偲びながら、お写経なさいませんか？

### □ 彼岸会施食会

三月二十四日(金)午後二時〜三時  
(受付は二時三十分まで)  
亡くなられた方にお経をあげ、先祖供養の法要を行います。

### □ 釈尊降誕会(花祭り)



四月八日(土)  
誕生したばかりのお釈迦様に甘茶を注いで、お釈迦様のお誕生を祝います。寺務所にて甘茶をご用意しております。

### □ マトリ合同法要

五月十四日(日)午後二時〜三時  
法話を聞いて、お祈りをして、静かなひとときをお過ごしになりますか？





# 皆様の清々しい心を見習って



廣野 三和子

臨南寺にお勤めさせていただいてから、はや十年の月日が過ぎました。

決して若くない年齢でしたので、お寺という環境と違和感もなく、むしろ興味深く、仕事に就くことができました。でも、それとは裏腹に、お寺独特の用語や、お寺様との接し方などに、戸惑うことや失敗することも数々ありました。今も、分らないことがたくさんあり、教わりながらの毎日です。

お寺にお参りに来られる皆様方からも、たくさんのお話をいただきました。お

寺ですの、慶事は少なく、皆さんさまざまな悲しみを超えて、感謝の気持ちを抱えて来られます。戦争中のこと、大正・昭和・平成と生き抜いて来られたお話、苦勞してお子様を育てられた方、今も頑張っておられるお話など、ドラマを見るより感動しております。

生活の環境はそれぞれ違っていても、仏様に手を合わせられるときの心は一つではないでしょうか？ 皆様の清々しい心を見習って、これからも精進して、務めさせていただきますと思います。

## 恒例の弁天さま祈禱会

今年も一月十五日（日）、新しい年の厄を払い幸せを祈る「弁天さま祈禱会」が、本堂にて三百人以上のご参拝の方々を集めて行われました。

住職による『大般若経』の転読が行われたあと、檀信徒の皆様や参詣者の方々の無病息災、家門隆盛、家内安全を祈願してお加持が修され、お札とお守りを授かりました。

また、恒例の甘酒もふるまわれ、寒さの中にも心温まる一日となりました。



## お気軽にどうぞ

### 早朝坐禅会

毎月第一土曜日

午前六時三十分～

\* 一月・七月・八月はお休み

### 写経会

毎月二十日 午前十時～午後三時

お経は午前十時・午後一時

随時受け付け

写経料 一〇〇〇円

### 子ども空手教室

毎週木曜日 午後七時～九時

一ヵ月 六〇〇〇円



※いずれも事前のお申し込みが必要です。

「ほ～っと」17号

平成18年3月

編集・発行：りょうがりん 椋伽林「ほ～っと」編集室

〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園1-32

☎ 0120-711-493

TEL 06-6698-1001 FAX 06-6697-3330

Eメール：rinnanji@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.rinnanji.com

### 編集後記

お寺から仏像を盗んでいた不心得者が逮捕されていましたが、臨南寺では本堂を開扉しております。どうぞゆっくりお手を合わせてください。今号の内容はいかがでしたか？ ご感想をお寄せください。